

報告書抄録

ふりがな	たくちぞうせいこうじにともなうはくつちょうさほうこくしょ なかざわいせき							
書名	宅地造成工事に伴う発掘調査報告書 中沢遺跡							
シリーズ名	草津市文化財調査報告書							
シリーズ番号	97							
編著者名	小島孝修・渡邊正巳・光谷拓実							
編集機関	草津市教育委員会事務局文化財保護課 公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県草津市草津三丁目 13-30 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2							
発行年月	平成 25 年 (2013 年) 9 月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なかざわいせき 中沢遺跡	しがけん 滋賀県 くまつし 草津市 にししぶかわ 西波川 ほか	25206	041	35 度 1 分 46 秒	135 度 57 分 56 秒	2,600㎡	20111115 、 20120330	宅地造成 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
中沢遺跡	集落跡	古墳時代 室町時代	自然流路・溝・ 土坑 掘立柱建物・井戸		土器 (土師器・須恵器) 土製品 石製品 (砥石) 石器 (磨製石斧・剥片) 木製品 (梯子・槽・棟押など) 金属製品 (小型仿製鏡) 土器 (陶器・磁器など)			
要旨	中沢遺跡は弥生時代～古墳時代の集落を中心とする遺跡であり、調査対象地は野洲川等が形成した扇状地の扇端部に位置する。発掘調査の結果、古墳時代前期の自然流路や落込を検出し、その埋土からは土師器や木製品が大量に出土した。そのほかにも溝や土坑・柱穴列などの遺構があり、明確な居住施設は確認できなかったものの、調査対象地一帯が当該期の集落の一部であったことがわかった。							